

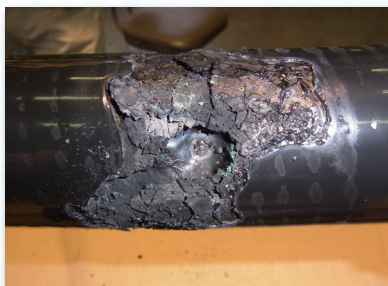
「設備を見守る」活線 部分放電診断サービス

PDOM2

Partial
Discharge
On-line
Monitor 2

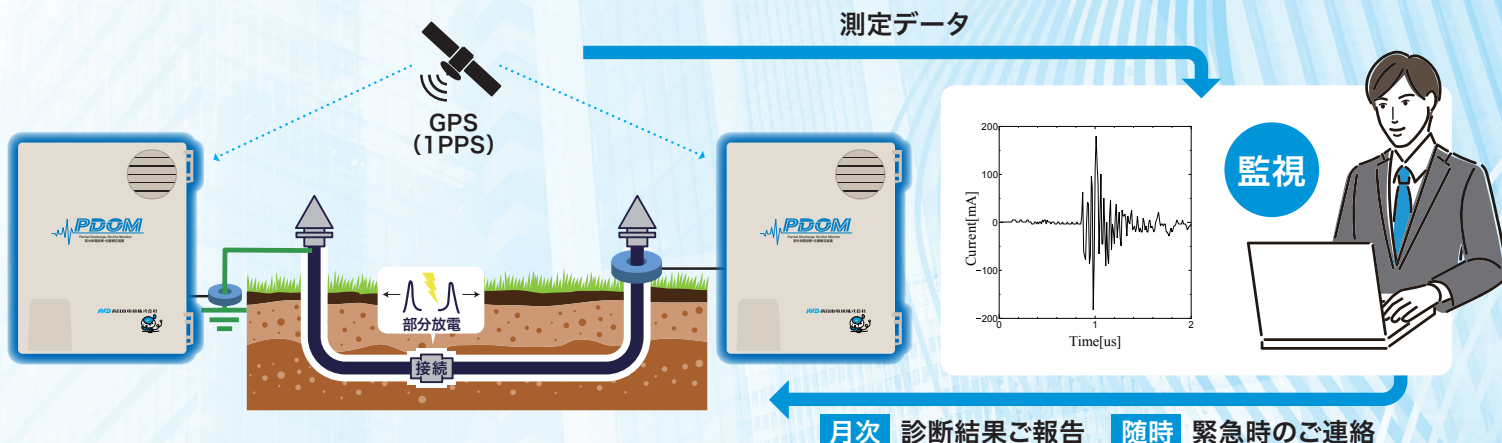
概要

本サービスは、ケーブルを始めとした電力設備の高経年化対策、効率的な設備更新に寄与します。



ケーブルの絶縁破壊様相

- 西日本電線の「設備を見守る」活線部分放電診断サービスは、PDOM2(部分放電オンライン監視装置)を用いて、電力ケーブルをはじめとした電力設備の状態をオンラインで見守るサービスです。
- 絶縁劣化の初期症状の一つである部分放電を検出し、さらにPDOM2を両端に設置することで部分放電発生源の位置標定ができます。これらにより、電力設備の劣化を早期発見し事故を未然に防ぎ、効率的な改修を行うことができます。



特徴

部分放電発生源の標定 電荷量算出

GPS信号の活用により、部分放電発生源の位置標定と発生源での電荷量の算出を行います。これらにより劣化傾向を観察することが出来ます。

完全放置

設置後はプログラムにより自動観測します。観測データはLTE、wi-fi回線等を通じてリアルタイムで確認出来ます。

場所を選ばず、 短時間で設置

屋内外問わず設置(IPx5準拠)でき、活線状態でセンサーの設置が可能なため停電は一切不要です。
PDOM2の設置はセンサーの取り付けを含めて1台20分程度と短時間です。

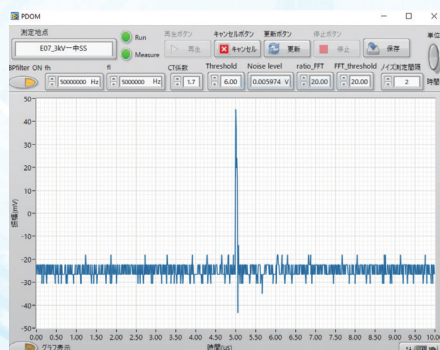
発生源
標定

電荷量
算出

劣化
傾向

完全
放置

停電
不要



検出プログラム



接地線用センサー設置の様子



屋外設置箱

簡易、廉価版の装置も開発中

NND 西日本電線株式会社